

-サーモグラフィーのパターンや神経ネットワークの探求を通じて作品制作-

人体を観察する国際的アーティスト、ユー・リンハンによる

日本初の個展「波紋を捉える〜Catching ripples〜」を

Galerie Supermarktにて開催

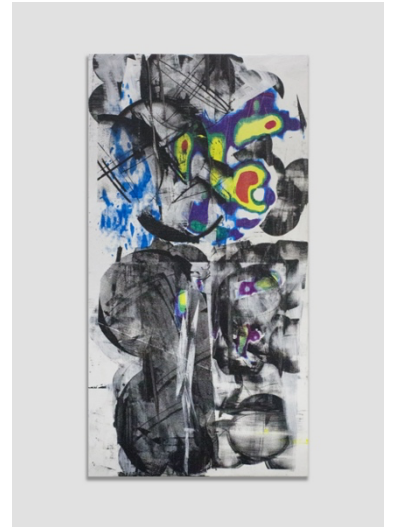
ベルリンを拠点に国際的に活躍する現代アーティスト、ユー・リンハンによる日本初の個展「波紋を捉える〜Catching ripples〜」を神宮前のスペース「Galerie Supermarkt」にて2023年9月23日(土)から10月28日(土)まで開催します。(Instagram: https://instagram.com/galerie_supermarkt)



破壁 10, Yu Linhan, 2023



破壁 2, Yu Linhan, 2023



破壁 8, Yu Linhan, 2023

国際的アーティスト ユー・リンハン

1990年北京出身のユー・リンハンは、中国やベルリンを初め、世界各国の美術館の展覧会に参加し、作品が収蔵されている国際的アーティストです。

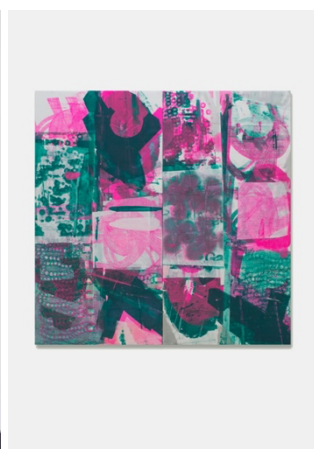
人体の構造を観察することを通して、自分自身、さらには人類という種への理解をテーマに作品を制作し、絵画、版画、壁紙など多岐に渡った表現手法を用いることで、展示空間をコントロールします。見る人に自分の身体について考える機会を与えるユー・リンハンは、本展「波紋を捉える〜Catching ripples〜」では、新作のペインティングを展示します。

展覧会詳細

本展では、2023年に制作された「Breaking Boundaries」、「Chromatics」と「ニューボディ 2.0」の3つの作品シリーズを展示します。この3つのシリーズは、人間の解剖学的構造と神経ネットワークの探求を通じてアーティストのユニークなアプローチを強調するもので、純粋な形式主義へのさらなる進化を表しています。人体に関連する特定の構造を抽出し、それらを単純化または断片化し、綿密にモデリングして3次元にレンダリングします。このプロセスは、3次元から2次元の平面へとイメージが変換され、内在するランダム性が絵画の不確実性を刺激します。これは、人体の一部の構造、例えばタンパク質の形成や、細胞組織の組み合わせ、デジタル化されたDNAの断片などを見る者に知覚させます。化学試薬を思わせる鮮やかな蛍光色は、従来の人体表面の色とは対照的です。視覚的な違和感を呼び起こすために採用された配色は、鑑賞者の身体性との視覚的な出会いに挑みます。



色素 1, Yu Linhan, 2023



破壁, Yu Linhan, 2023



New body 2.0-1, Yu Linhan, 2023

「Chromatics」シリーズは、誇張された色彩関係や重なり合った色彩ブロックによって、個々のイメージの形を崩している。キャンバスに描かれたイメージは人体に由来するものですが、解剖学的構造を描いているわけではありません。このシリーズは、特定の目的ではなく、アーティストの基礎的な探求を中心に展開されています。

「Breaking Boundaries」シリーズは、サーモグラフィーのパターンを用いて、超音波細胞解剖に似た、球体の物体が解剖されているような様子をシミュレートしています。サーモグラフィーのパターンを導入することで、幾何学的な球体のフォルムが解体されます。

「ニューボディ 2.0」シリーズは、2つのシリーズと平行して、芸術における最も基本的な要素である「線」の研究に焦点を当てています。これらの抽象作品は基本的に代表的なもので、抽象的な構造を表示することを意図しています。このシリーズで描かれている人物は、ブレイン・マシン・インターフェイスの外観を描写することを意図しているのではなく、曲線を通して反復修正の痕跡とスピード感を提示します。

【開催概要】

「波紋を捉える～Catching ripples～」

会期: 2023年9月23日(土) - 10月28日(土)

開廊時間: 12:00 - 18:00

会場: Galerie Supermarkt

住所: 東京都渋谷区神宮前3丁目7番12号

Instagram: https://instagram.com/galerie_supermarkt**ユー・リンハンの制作について**

キャンバスの制作を開始する前に、彼はキャンバスを6つのセクションに分けるなど、一定の構成パラメータを設定します。創作過程では、キャンバスを地面に広げ、意図的に方向を混乱させるように描き方を変化させ、シンメトリーとアシンメトリー、切り込みと切りっぱなしなど対義的要素が交錯し、伝統的なメディアとしての絵画とランダムな性質を提示することを目指します。

ユー・リンハン独自のコンポジションで繰り返される類似のイメージは、単なる複製ではありません。彼は「反復とは、見慣れたものの中にあるユニークなものであり、あるものから別のものへの移行である」と述べます。ドイツ表現主義の先駆者であり、ブリュッケ・グループの共同創設者であるエルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナーによる線の探求は、作品に深い影響を与えています。一見無秩序に見えるキャンバスの中で、特定の線や色のブロックを巧みに抽出し、イメージに最も適したリズムを生み出しノイズから目的の信号を分離するという神経科学者が直面する最大の難題に似ています。

Galerie Supermarkt | ギャラリースーパーマーケット

Galerie Supermarkt は2021年に世界的なパンデミックが蔓延した際、従来とは異なる現代アートへのアプローチへの必要性を感じ、自身もアートコレクター、そしてアーティストとしても活動する Jiiii Xu (ジヨイ) により立ち上がりました。

あえてスペースを持たず、作品とアーティストに最適な場所で展覧会を構成することで、様々な場所、空間、環境と共鳴し、従来の展示の制限を突破して柔軟で開放的な展示の表現と体験提案し、アーティストには育成プラットフォームを提供し、潜在力と創造力を持つ芸術家を育成し、世界にプレゼンテーションしていきました。パンデミックに対応し、ポストコロナとなった現在は、固定のスペースを構えることで、恒常的なコミュニケーションを諸外国、特にアジア諸国の鑑賞者と交わし、現代美術の発展に務めるために6月より神宮前にスペースをオープンしました。固定スペースをハブに、エリア特有のカルチャーと共鳴しつつ、各分野の専門のパートナーと協力し、Galerie Supermarkt は現代芸術の社会における可能性を体現していきます。

お問い合わせ: press@galerie-supermarkt.com